

## 2018 年度支部晩餐会・山行報告（鳥海山荘・鶴間池）

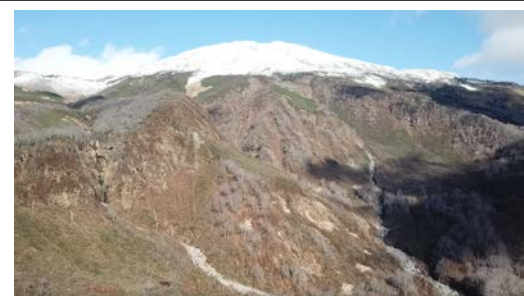
2018 年 11 月 17-18 日

2018 年度山形支部晩餐会が 11 月 17 日に鳥海山荘で、翌 18 日には鶴間池への山行が実施されました。鳥海山荘集合は 17 日 15 時、参加者は粕谷俊矩、長岡伸恭、志田郁夫、後藤 彰、鈴木理夫、佐藤映子、菅原恒男、瀬川 昭、野堀嘉裕、河口昭俊、梅本幸巳、竹永哲夫、佐藤一広の 13 名でした。18 時から竹永哲夫氏による記念講演会「登山で健康回復」が行われました。講演では、患者サークルによる富士登山の話、山岳会への加盟の経緯、登山による免疫効果で健康を回復した事例の紹介など、極めて興味深いお話を聞くことができました。支部長の開会の挨拶では今年ご逝去された 3 名の会員、阿部興二氏（14136）78 歳、畠中六左エ門氏（5840）89 歳、水澤 富一郎氏（4025）92 歳への追悼の言葉がありました。また、東北北海道地区集会へのお礼、2019 年 1 月末発の特別企画「モンゴル厳冬期スキーツアー」の紹介などがありました。懇親会でのお楽しみバザーは佐藤一広事務局長がディーラーとなり、最初に木村喜代志氏提供の世界各地のテーブルクロスなど興味深い品々が競売されました。出版物のバザーでは支部長がディーラーを担当し著書の特徴や初版の価値を開設しながら競売を行いました。また、梅本幸巳氏がディーラーとなり、水墨画の競売が行われました。瀬川 昭会員からは米やネギの販売がありました。総売り上げは例年を大きく上回る額になり、半額は支部の臨時収入へ繰り込むこととなりました。一方、今年亡くなられた畠中六左エ門（5840）氏のご息様からサケの味噌粕漬が贈呈されたことが紹介されました。参加者一同感謝の意を表しました。

翌 18 日は 7 時朝食の後 8 時に鶴間池に向けて出発。参加者は鈴木理夫（CL）、竹永哲夫（渉外）、佐藤映子（医務）、野堀嘉裕（記録）、渡辺 誠（指導）の 5 名でした。9 時に鈴木理夫氏の先導で山雪荘から登山路に入り、急坂を下り、池沢を渡って避難小屋に到着。ドローン撮影見学の後、帰路についた。落葉後のブナ林の白い幹の間から見える鳥海山の遠景を堪能した山歩きでした。11 時 30 には山雪荘帰着し現地で解散しました。



晩餐会の集合写真



鶴間池上空から鳥海山を望む



鶴間池避難小屋



上空から見た鶴間池